

今夏の電力需給対策の 進捗状況について (産業界及び地域の取組)

平成24年6月22日

経済産業省

今夏の電力需給対策における産業界の取組

1. 6月6日～6月8日に各業界団体及び電力のひっ迫が見込まれる地区で事業を行う50を超える代表的な企業に対し、今夏の需給対策の進捗状況を確認するための聞き取り調査を実施。
2. 多くの企業が節電目標を設定し、操業調整や自家発の活用、照明・空調の節電など、積極的に取り組んでいる。
3. ただし、照明・空調の節電によって電力費用は削減されるものの、特に産業部門での節電においては、工場の稼働時間帯の夜間シフトによる労働コストの増加や生産前倒しによる倉庫料の増加、自家発の稼働による燃料費の増加といった問題点が指摘されている。

（自動車関係）

業界大で電力需給見通しや節電対策に関する情報の周知を徹底。A社（関西）は、昨年夏からの節電活動（コージェネシステムの出力上昇、空調温度の調整、照明の間引き等）を継続実施し、休日シフトを実施せずとも15%の節電を行う予定。

（鉄鋼関係）

鉄鋼業界では、昨夏同様、需給両面から貢献を行う予定。需要面では、空調・照明の調整はもとより、生産設備定期補修の夏期集中配置、夜間時間帯への生産シフト等に取り組む。供給面では、自家発等の定期点検時期の最適化や休止している自家発等の再稼働等により、電力会社への最大限の電力供給を行う予定。B社（関西）は、設備の計画休止や自家発の出力増等により、関西地区事業所15%、九州地区事業所10%の節電目標に取り組む。

（化学関係）

C社（関西）が、企業グループで2010年比20%の節電目標を策定するなど、政府の節電対策あるいはそれ以上の数値目標を導入する企業も存在。また、多くの企業がピーク電力抑制のため、工場の夜間シフトや前倒し生産等の生産計画の変更のほか、業務部門でも照明の間引きやLED化、空調の調整などに取り組んでいる。

（非鉄金属関係）

D社（関西）は、企業グループ全体で2010年比15%の節電目標を設定し、生産の夜間シフトの他、高効率照明の導入やポンプ・ファンのインバータ化などにより、使用電力のピークカットに取り組む。さらに、自家発電の活用も行う。

（産業機械関係）

E社（関西、中部、四国等）は、全事業所で2010年比10%の節電を行うのみならず、関西地区にある複数の工場に対しては特に16～17%の節電目標を設定。F社（中部）は、生産設備を省エネモデルに更新することや、部品加工・組立の生産効率の向上に取り組むなど、作業時間の夜間シフトを抑えながら、生産現場のカイゼンを通じた節電に取り組んでいる。

（情報通信・電気・電子関係）

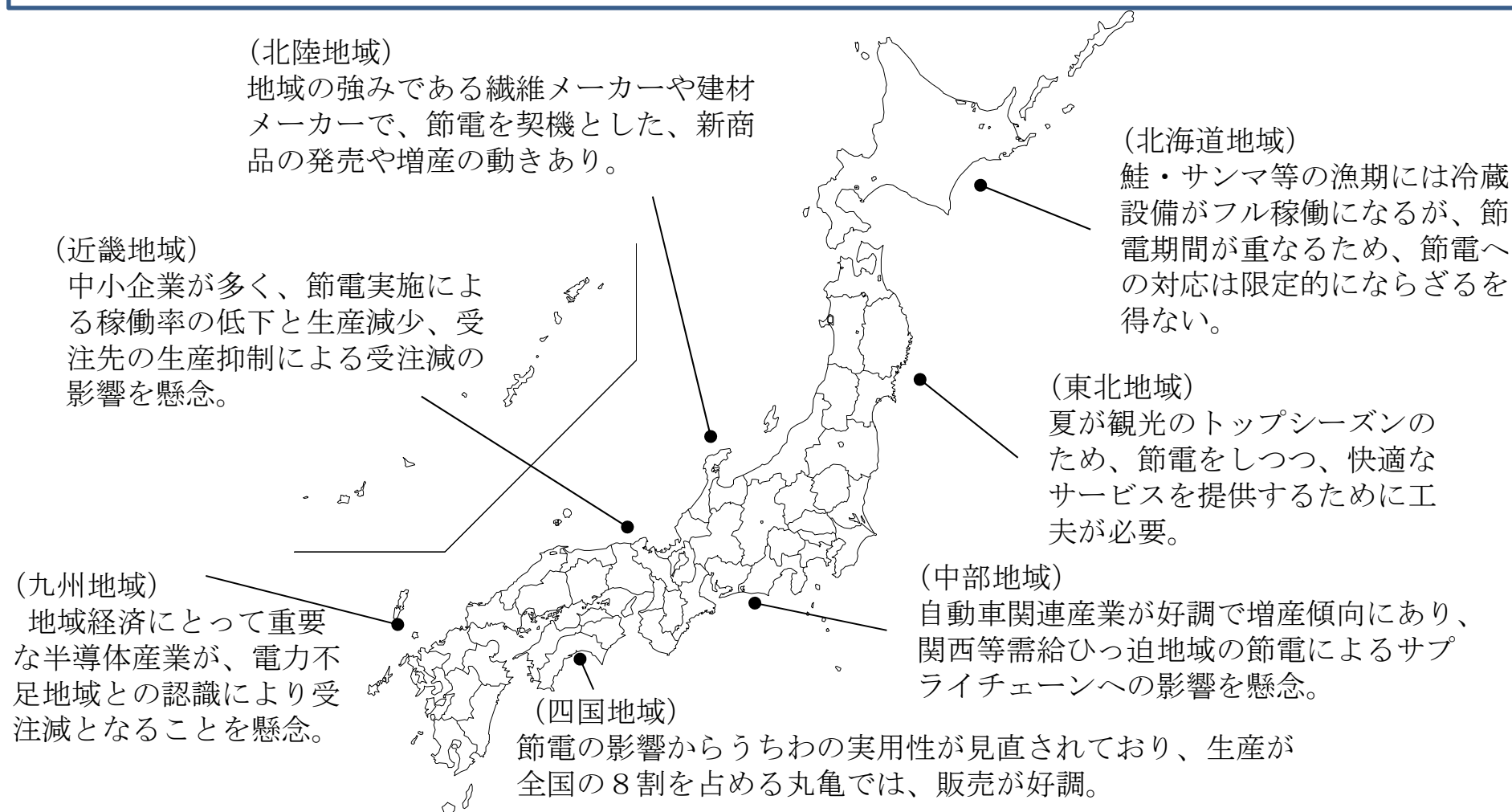
業界大で電力需給や節電対策に関する情報の周知・共有に努めている。G社（関西、九州等）は、夏季休暇の分散や、電子部品生産を夜間シフトするなどしてピークカットに取り組む。H社は、全社員がグループ全体の電力使用量をモニタリングできるシステムを構築し、社員一人一人の意識を高める活動に取り組んでいる。

（流通関係）

流通団体Iは、「節電ガイドライン2012」を作成し、各社の取組のフォローアップを実施。業界で統一した顧客に対する節電周知ツール（ポスター・店内放送等）を作成。J社（全国）は、政府の節電要請に合わせた地域別の目標設定を行い、照明の間引きやLED化、空調の調節のほか、飲料ケースの設定温度の見直し、朝の涼しい時間帯の買い物ニーズに応えるオープン時間の前倒しなどに取り組んでいる。K社（全国）は、関西・九州地区でのLED化を加速するほか、スマートセンサーの導入による見える化や各店舗でのエコリーダーの配置等ソフト面での節電にも取り組んでいる。

今夏の電力需給対策における各地域の取組(各地域の状況)

1. 6月8日に拡大経済産業局長会議を開催し、各地域の電力需給対策について報告がなされたところ。
2. 地域の産業の特性から、節電実施による生産減少やサプライチェーンへの影響といった、節電に対する懸念の声が多く聞かれる一方、地域の特色を活かした工夫もみられる。



今夏の電力需給対策における各地域の取組(自治体の取組状況)

各地域の地方自治体では、草の根レベルでの節電対策の促進に積極的に取り組んでおり、地域の特色を活かしつつ、工夫を凝らした取組が数多く見られた。

秋田県	「家庭の節電応援キャンペーン」 節電実績の優れた家庭に、県産品などの節電賞を贈呈し、楽しみながら取り組む節電を促進。
新潟県	「無理なく・無駄なく・楽しく節電コンテスト」 節電アイデアや、節電に寄与する県産品を県内から募集。優秀アイデアを表彰し、節電県産品を贈呈。
東京都	省エネ診断(約600件/年)や、節電アドバイザー(約4,000人)による戸別訪問を実施。
富山県	「とやまメガ節電プロジェクト」(7月初旬開始予定) WEB上に節電行動を登録し、仮想のメガ節電所を建設。優れた貢献者にギフトカードをプレゼント。
関西広域 連合	「家族でお出かけ節電キャンペーン」 夏の昼間に家族での外出を促進するよう、公共施設や商業施設と連携して来場特典等を実施。
山口県	「ぶちエコ“ピークカットPM”キャンペーン」 ピークカット取組事例集を作成するなどして、県庁のみならず、県民や県内事業者にも節電を普及。
香川県	「うどん県エコストラッププレゼント」 節電術がわかるチェックリストを県内40万世帯に配布。節電宣言した先着1万人にエコストラップ贈呈。
福岡市	「省エネチャレンジ応援事業」 家庭で取り組んだ省エネ行動をCO2削減量に換算し、その量に応じた交通ICカードのポイントを付与。
熊本県	「県内一斉消灯」(6～9月に6回程度)や、「地球温暖化防止活動推進員」(103名)を通じた、きめ細やかな啓発の呼びかけを実施。